

多機能型事業所socio自己評価表

	チェック項目	はい	どちらとも いい ない	いいえ	無回答	改善目標・工夫
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	<input type="radio"/>				各部屋を有効活用し、様々な活動に対応できるようにしている
	② 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>				1日に概ね5～7人の職員を配置している。土曜日や長期休暇は内容によってもう少し必要。
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>				津山市「人にやさしいまちづくり条例」に適合している
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>				
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につながっているか	<input type="radio"/>				結果について職員間で協議するとともにホームページに結果を公表している。
	⑥ 事業所向け自己評価及び保護者向けの評価の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>				ホームページで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につながっているか			<input type="radio"/>		第三者評価は実施していない。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>				外部研修への参加、内部研修の実施など、積極的に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>				利用開始前には必ずアセスメントを行い、必要に応じて関係機関からも情報を収集している。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				アセスメントツールは統一されている。
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援事業ガイドライン「児童発達の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	⑫ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>				
	⑬ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>				全ての職員が立案に加わっている。
	⑭ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	<input type="radio"/>				様々なプログラムを取り入れている。
	⑮ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>				それぞれの課題に即して集団、個別の活動を行っている。
	⑯ 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>				毎日申し送りを行い、送迎、学習、、個別、運動、レクなどの担当者や利用児の対応について話し合う機会を作っている。

	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				パート職員が残れないため、正職員で振り返りを行い、次の日の申し送りで伝えているが、不十分な事があるため、記録を残せるように検討していく。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				記録の抜けはないが、記録を記入する時間や記入様式を再検討し、確実に記録が残せるようにしていく。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				半年ごとに保護者及び職員間でモニタリングを行い、目標の到達度に合わせて見直しの必要性を判断している。
適切な支援の提供	⑳	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				基本的には児童発達支援管理責任者が参加し、出来ない場合は正職員が参加している。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				学校とは送迎時間の確認以外にも支援方法等についても必要に応じて協議が来ている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健		○			
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		医療的ケアが必要な方は看護師を配置している同一法人内事業所で受け入れている。
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				新入生を迎え入れるときにはアセスメント時に情報共有の機会を設けている。
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		他事業所が行なっている。
	㉖	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○				地域団体の主催する行事に一般の児童に交じって参加するなど、そういう機会を作っている。
	㉘	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				協議会の会合、活動には毎回積極的に参加し役割も担っている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				連絡ノートやSNSを通じて保護者と連絡を取り合っている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	○				
		㉛	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				より専門的な見地から助言や支援が行えるように努力したい。

保護者への説明責任等	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○				大人のsocioや、家族交流会など保護者同士が交わる場を設定している。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				苦情解決マニュアルを整備し、第三者委員も選任している。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、体制連絡等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				Instagramやラインなどで行っている。
	③⑥	個人情報に十分に注意しているか	○				マニュアルを整備し、細心の注意をしている。保護者にも同意書で確認している。
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				それぞれの発達段階や能力に合ったコミュニケーションができるようにスキルを高めていきたい。
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		以前はしていたが、コロナ禍でできていない。
非常時等の対応	③⑨	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知されているか			○		保護者への周知が不十分である。周知方法について検討していく。マニュアルはある。
	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○				年2回の防災訓練、不審者対応訓練を行っている。
	④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				マニュアルを整備し職員と研修を通じて周知している。
	④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービスに記載しているか	○				
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				食物アレルギーのある子どもはいないが、今後アレルギーのある子どもがいる場合は、保護者と情報を密にしておく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				事故及びヒヤリハット報告書を整備し、何かあれば記入して対策について検討している。